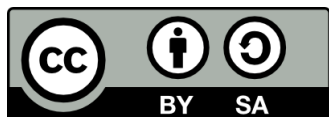


信州大学におけるRDM推進 組織、ポリシー、アクション

2023年12月15日

2023年度AXIES年次大会 RDM部会企画セッションI

信州大学附属図書館 岩井 雅史

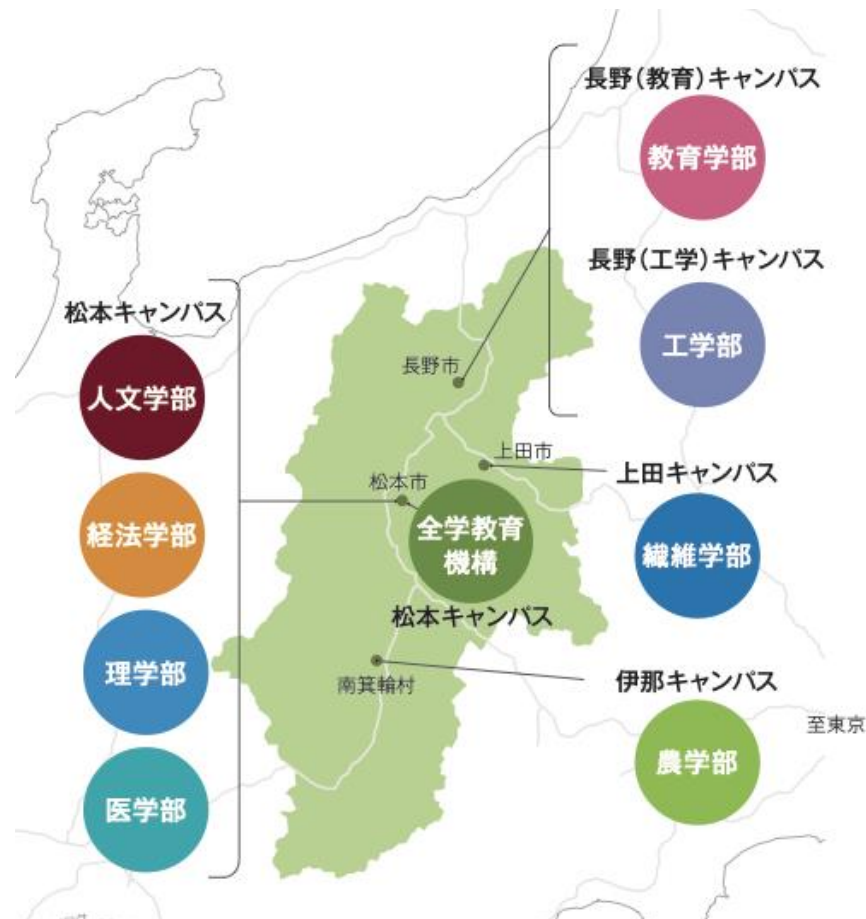


報告の内容

1. 信州大学で研究データ管理に取り組むまで
2. 検討の体制
3. 研究データポリシーの内容
4. ポリシー策定後の取り組み

信州大学で研究データ管理に 取り組むまで

信州大学の概要



5キャンパス・8学部の
総合大学



研究データ基盤へのニーズ

- 多様な分野の研究データを扱う
- 離れたキャンパス間でのセキュアなデータ共有

研究データ管理に関する検討過程

2018/03	研究データの保存等に関するガイドライン(いわゆる10年保存)	研究担当 理事裁定
2018	GakuNin RDM等の動向について情報 交換・意見交換	附属図書館・ 研究推進部
2019/03	将来的に保存先として「GakuNin RDM を視野に」検討を行うことを了承	不正行為 防止計画 推進室会議
2019/05	GakuNin RDM実証実験(第2期)参加	関係職員
2019/07	オープンサイエンス推進部会設置	附属図書館

検討の体制

オープンサイエンス推進部会

期間

2019年7月～2022年3月

構成

- ・ 附属図書館長
- ・ 各学部教員
- ・ 総合情報センター長
- ・ 附属図書館各館職員
(オブザーバー: 研究推進部職員)

主な取り組み

- ・ オープンアクセス方針の策定(2021年7月)
- ・ オープンアクセスや研究データ管理に関する、研究者へのアンケート・インタビュー

研究データ作業部会

期間

2022年4月～

構成

- ・ 理事（情報・DX担当）
- ・ 理事（研究、産学官地域連携担当）
- ・ 附属図書館長
- ・ 総合情報センター長
- ・ URA
- ・ 研究推進部長、研究支援課長
- ・ 附属図書館管理課長

主な取り組み

- ・ 研究データポリシーの策定
- ・ 研究データ管理等にかかる支援体制及び基盤整備のあり方に関する検討

研究データ作業部会設置に至る過程

2021/10	図書館長説明	附属図書館
2021/10	事務打ち合わせ	附属図書館・ 研究推進部
2021/11 2022/01	理事等（情報・DX担当、研究担当、総合 情報センター長）説明	附属図書館・ 研究推進部
2022/02	学長補佐（URA担当）説明	附属図書館・ 研究推進部
2022/02	理事懇談会説明	理事（情報・ DX担当）

研究データポリシーの検討過程

2022/05	第1回 部会のミッションの確認
2022/06	第2回 データポリシーに書き込む項目
2022/08	第3回 データポリシーのたたき台
2022/09~10	部局への意見伺い 希望する部局への説明会の実施
2022/11	第4回 意見伺いの結果の検討
2023/01	第5回 データポリシー案決定
2023/02	情報・DX推進機構運営会議で承認
2023/03	役員会で承認

研究データポリシーの内容

ポリシー制定にあたり考慮したこと

- 参考にしたもの
 - 先行大学のポリシー（京大、名大、東工大、東北大）
 - [大学における研究データポリシー策定のためのガイドライン（AXIES）](#)
- （上記ガイドラインで言う）「オープンサイエンス」型と「コンプライアンス」型の折衷
- 研究推進部からの意見の反映
 - 研究インテグリティ
 - オープン・アンド・クローズ戦略

部局からの意見・疑問点

- プロジェクトの委託元のデータ管理に関する合意書やガイドラインとポリシーとの関係
- 研究データや研究者の定義
- データをオープンにすることと同時にクローズにすることも意識してほしい



主に解説に反映

ポリシーの特徴

- 研究データ管理は研究者等の「権利及び責務」
 - データを管理する主体は研究者
- 契約・法令等の遵守や倫理的要件の尊重、研究インテグリティの確保
- 公開・非公開は、各種条件等の範囲で適切に選択
 - 全ての研究データの公開を求めるものではない
 - 公開する場合は利用条件を付与
- 大学は研究者等の行う管理及び公開を支援
 - 具体的な内容は解説で例示

ポリシー策定後の取り組み

現在取り組んでいること

- 研究データ管理に関する広報・FD等
 - ポリシーの内容、政策の動向から具体的なツール（GakuNin RDM等）の使い方まで
 - ウェブサイトの内容の整備
- ポリシーの実施要領の策定
 - 具体的に何をすれば、ポリシーに従ったことになるのかを、研究者にわかりやすく
 - 検討は引き続き研究データ作業部会で

これから取り組むこと

- DMPやメタデータ付与に関する支援内容の検討
 - 2023年度までに主要な公募型研究資金で導入
- 即時OA義務化に対応する支援内容の検討
 - 2025年度新規公募分から、査読論文・根拠データが対象
 - データの範囲や公開方法、実施体制、必要なストレージ等々の検討

ありがとうございました

ご質問等は、信州大学附属図書館情報システム担当
library-soar2@shinshu-u.ac.jp まで



信大ナナちゃん

信州大学附属図書館
マスコットキャラクター